

本県の環境素材 地域研究に意欲

京大副学長
知事を表敬

京都大学の松本紘副学
長らが二日、県庁に三村
申吾知事を訪ね、同大学
が計画する本県の自然環
境を素材とした地域研究

構想について説明した。

松本副学長は「地域連
携型の新しい研究をして
いきたい。青森県は淡水、
汽水、地下水がたくさん
あり、バイオスフィア(閉
鎖型生態系実験施設)の



松本紘副学長

研究も行われ、エネルギー
も豊富。いろいろな条
件がそろっているので選
んだ」とあいさつ。

三村知事は「青森県を
どのようにフィールドと
して活用してもらえるか
興味がある。心から歓迎
する」と期待を寄せた。

京大は、世界自然遺産
・白神山地や六ヶ所村周
辺を舞台に、遺伝子や微
生物、元素移動の研究な
どを行うことを想定。現
在、国に予算を概算要求
している。教授をはじめ
十人程度が本県に滞在し
て研究する見込み。

H19.8.3(金)

東奥日報

(2面)